

'70年を

日東が躍進する年に

取締役社長

加藤 陽



皆さん 新年おめでとうございます

新春には誰しも希望を抱いて来る月日について考える。先づ第一が健康、良い家庭、働き甲斐ある職場、住み良い社会へと。道遠とはいえ一歩ずつ登ってゆく努力は尊い。

かたつふり そろそろのぼれ

不二の山

一茶

十年ほど前の新年に第三工場（当時は第四工場の一部まで位しかなかった）で皆さんに示した俳句ですが、この間に大分登れたようです。特に昨年は相当の増築にもかかわらず相変わらず工場が狭くなって、今年の蝸牛は多少急がなければなりません。

今年日東が全力をあげて取り組む仕事は三つあります。その一は創立以来の大規模な設備投資です。名古屋工場二千百余坪増築と独身寮建設、二は営業所新設、又増設建物に第一級の機械群を入れて増産及び合理化の体勢をとる、本社の管理中枢を名古屋工場に移し、名実共に六月までに新天地に移転する計画等です。

その二はコンピュータシステムの採用です。数年前に時期尚早として研究のみで見送りしましたが、只今の実力なら充分使いこなせる自信も出来ましたので、一月から各職場の教育から始めて九月には、機械の搬入とともにフル運転としたのです。十数年前に近代の経営管理教育に早く取組んで、他社に先がけて成果を挙げたと同様に、今回も早くマスターすれば、日東の躍進に大きな力を与えるでしょう。進んで早く習熟して欲しいと思います。

其の三は新製品開発です。前に述べたその一、その二の充実はこの新製品開発——販売増加で始めて花が開くというものです。本年は従来品種の改良もかなり成果を挙げれる時期に來ましたが、他部門に比較して開発技術の伸びが弱いのは会社の泣き処です。新しいアイデア、材料、技術をドシドシ取入れて魅力ある商品を作りましょう。実力主義で人材を適所に登用して、設計製造販売の技術向上に務めて、経営内容を良くして行きたいと思っています。